

令和7年度

入学者募集要項 (第2次募集)



独立行政法人国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272 番地 1

電話(0846)67-3177(学生課入試係)

FAX(0846)67-3029(学生課)

ホームページ <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/>

目 次

受験生のみなさんへ	1
入学者募集要項	
募集学科・人員	5
出願資格	5
入学者選抜に関する合理的配慮の提供に 関して	5
出願手続き	6
入学者選抜方法	8
検査日時及び受験地	8
合格者の発表	8
入学手続きについて	8
検定料免除	9
個人情報の取扱いについて	9
入学年度に納める経費	9

受験生のみなさんへ

広島商船高等専門学校三つの方針

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【求める学生像】

広島商船高等専門学校では、次のような人を待っています。

- (1) 学校で学習した基礎学力が身についている人
- (2) 学校の行事、生徒会や部活動に努力した人
- (3) 自ら考え、工夫し行動できる人
- (4) 将来、社会で活躍したいという夢のある人

求める学生像の4項目について、(1)は学力の3要素の 知識・技能、(2)(3)は 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、(4)は 思考力・判断力・表現力に対応しています。

【入学者受け入れの基本方針】

本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、以下の方法で選抜を行います。

推薦による選抜(全学科共通)

出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

学力検査による選抜(全学科共通)

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会の5教科）を行い、その結果を総合的に判断します。なお、学力検査はマークシート方式になります。

帰国生徒特別選抜(全学科共通)

豊かな国際性を備え、本校の教育を受けるのに必要な素養を有した学生を選抜するため、志願動機、意欲、適性などに関して、提出書類の評価と学力検査（理科、英語及び数学の3教科）、作文（日本語）及び面接を実施し、その結果を総合的に評価します。なお、学力検査はマークシート方式、作文は与えられたテーマについて600字程度になります。

カリキュラム・ポリシー

【全学科共通】

広島商船高等専門学校のディプロマポリシーに掲げる5つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の5年一貫教育課程を編成しています（商船学科は5年6か月）。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60点以上で単位認定しています。

- (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけるために、人文・社会科学系科目を設置する。
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけるために、語学系科目を設置する。

- (C) 専門分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけるために、自然科学系科目を設置する。
- (D) 専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を応用できる能力を習得するために、専門教科を設置する。
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけるために、実践的な科目を設置する。

本科の学習・教育目標である「(A)豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、(B) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、(C) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、(D) 専門的知識・技術とその活用力の習得、(E) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成」を実現するため、低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとしています。

全ての授業は、カリキュラムポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価しています。単位認定基準及び標語については以下に示す通りです。

優：100～80点、良：79～70点、可：69～60点、不可：59点以下

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法をWebシラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価しています。

【商船学科】

商船学科では、ディプロマポリシーに掲げる5つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の5年6か月の一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの(A)(B)(C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、(D)は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」として商船系分野(航海)もしくは商船系分野(機関)、(E)は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

- (1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設置する。
- (2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設置する。
- (3) 海事関連分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけるために、自然科学・情報科学系科目を設置する
- (4) 「Society 5.0」において活躍できる船舶の運航や管理に関わる知識と技術を身につけ、世界の海で活躍できる海事技術者を育成するために必要な科目として、航海コースでは、航海学、海上交通法、船舶の管理運用、物流管理、通信に関する科目を、機関コースでは、内燃・蒸気機関、伝熱、流体、材料、電気機械、情報処理、機関管理に関する科目を設置する。
- (5) 航海実習や卒業研究に取り組み、上級船員に求められる課題解決力や実践的チームワーク能力(シーマンシップ)を身につけられる科目を設置する。

【総合科学科電子情報システム系】

総合科学科電子情報システム系ではディプロマポリシーに掲げる5つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の5年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの(A)(B)(C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、(D)は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」として電気・電子系分野、機械系分野、材料系分野、情報系分野、(E)は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

- (1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設置する。
- (2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設置する。
- (3) 電子制御分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけるため

- に、自然科学・情報科学系科目を設置する。
- (4) 「Society 5.0」において活躍できる実践的・創造的メカトロニクス技術者を育成するために必要な科目として、電気・電子、機械、計測・制御、情報に関する科目を設置する。
 - (5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、実験実習や卒業研究などを設置する。

【総合科学科流通情報マネジメント系】

総合科学科流通情報マネジメント系ではディプロマポリシーに掲げる5つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の5年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの(A)(B)(C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、(D)は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」としてビジネス基礎系分野や経済ビジネス系分野、情報系分野、(E)は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

- (1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設置する。
- (2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設置する。
- (3) 流通ビジネス又は情報通信分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけるために、自然科学・情報科学系科目を設置する。
- (4) 「Society 5.0」において活躍できる情報工学・管理工学・法学に関する技術を身につけ、流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者を育成するための科目を設置する。
- (5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、流通情報マネジメント演習など演習系の科目や卒業研究などを設置する。

ディプロマ・ポリシー

【卒業認定の基本方針】

広島商船高等専門学校は、豊かな人間性と国際性及び、強い精神力と高い倫理意識を持ち、将来社会において活躍するための基礎となる知識と技術を身につけ、さらに生涯にわたって学ぶ力を備えた人材を育成することを理念としています。本校ではこの理念に基づいて、学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、修得した学生に準学士の称号を授与します。

【養成する人材像】

- (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
人文・社会科学系科目
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
語学系科目
- (C) データサイエンスに関する情報科学の知識を習得し、専門分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
自然科学系科目、専門教科
- (D) 専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を応用できる
専門教科
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている
実習・演習系科目及び卒業研究

準学士課程では、本科の学習・教育目標である「(A) 豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、(B) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、(C) 基礎科学や情報処理

の知識・技術の習得、(D) 専門的知識・技術とその活用力の習得、(E) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成」の各目標に対応した科目の履修により、商船学科については 147 単位以上、総合科学科については 167 単位以上を修得した学生に卒業を認定し、準学士と称することを認めます。

ここで、一般科目は(A)、(B)、(C)の科目、専門科目は(C)、(D)、(E)の科目が対応します。

上記単位の修得により、本科の教育目的「豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、専門的知識・技術とその活用力の習得、社会に貢献できる創造力と実践力の育成」を実現します。

【商船学科】

商船学科は、海事関連分野の専門技術を中心とした実践的技術を身に付け、社会情勢の変化に応えられる技術者の育成を目的としています。本学科ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。

- (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
- (C) 海事関連分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけている
- (D) 船舶の運航や管理に関わる専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を国内外の海上輸送分野で応用・実践できる
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

【総合科学科電子情報システム系】

総合科学科電子情報システム系は、電気・電子、機械、計測・制御、情報の専門技術を中心とした幅広い基礎技術を身に付け、社会のニーズに応えられる技術者の育成を目的としています。総合科学科電子情報システム系ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。

- (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
- (C) 電子制御分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけている
- (D) 電子制御に関わる専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を電気電子、機械、計測・制御、情報分野で応用・実践できる
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

【総合科学科流通情報マネジメント系】

総合科学科流通情報マネジメント系は、情報工学・管理工学・法学に関する技術を身に付け、流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者の育成を目的としています。総合科学科流通情報マネジメント系ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。

- (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
- (C) 流通ビジネス又は情報通信分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけている
- (D) 流通ビジネス又は情報通信に関わる専門知識を習得し、演習を通してその知識を情報社会や地域ビジネスで応用・実践できる
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

【留意点】

商船学科は、第3学年より航海コース、機関コースに分かれます。

総合科学科流通情報工学科は、第2学年より電子情報システム系、流通情報マネジメント系に、第3学年より電子システムコース、電子情報コース、流通マネジメントコース、流通情報コースに分かれます。

令和7年度入学者募集要項(第2次募集)

募集学科・人員

学 科 名	募集人数
総合科学科	10名程度

出願資格

出願資格者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者若しくは中等教育学校の前期課程を修了した者(令和7年3月卒業見込みの者を含む)
- (2) 外国において学校教育における9年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者(令和7年3月修了見込みの者を含む)
- (3) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者(令和7年3月修了見込みの者を含む)
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則(昭和41年文部省令第36号)により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (6) その他相当年齢に達し、本校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

根拠資料に関しては提出の要不要に関しても本校学生課入試係までご相談ください。

ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 (担当係) 学生課入試係 (電話番号) 0846-67-3177
(FAX) 0846-67-3029 (MAIL) form01@hiroshima-cmt.ac.jp

出願手続き

(1) 受付期間

令和7年2月20日(木)から2月28日(金)まで

持参する場合は9時から16時まで受け付けます。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は窓口受付を行いません。

(郵送の場合も2月28日(金)16時までに必着のこと。)

入学検定料振込期間

令和7年2月20日(木)から2月28日(金)まで

金融機関の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。

(2) 受付場所

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野4272番地1
広島商船高等専門学校 学生課入試係
TEL (0846) 67-3177

(3) 出願書類

区分	書 類	摘 要	様式
志願者が作成するもの	入 学 願 書 (受験票・写真票)	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。	様式 - 1
	明細書貼付台紙	16,500円 金融機関に受験者名で以下の口座に振込みしてください。なお,振込手数料については,各自でご負担ください。 < 振込先銀行等 > ○広島銀行木江支店 普通預金 3082220 ○受取名義人 (独) 国立高等専門学校機構本部 「ドク」コリツコトウセモノガ ッコウキコウホフ」 また,振込したことが分かる明細書を「明細書貼付台紙」に貼り付けてください。	様式 - 2
中学校等が作成するもの	調 査 書	本校所定の用紙を使用し,厳封したものを提出してください。	様式 - 3

(出願上の注意事項)

- 1) 志願者は上記出願書類、 を作成の上,所属学校長に提出し,学校長は出願書類を添え,とりまとめの上,封筒(様式自由)に入れて提出してください。
- 2) 出願書類に事実と相違する記載があった場合は,入学を取り消すことがあります。
- 3) 出願書類の記載事項については,記入もれ,押印もれなどのないよう提出前に必ず確認してください。
- 4) 出願書類を郵送する場合は,必ず「書留郵便」とし,封筒の表面に「入学願書在中」と朱書きしてください。
- 5) 入学願書受付後は,出願書類は一切返還いたしません。
- 6) 振込済の入学検定料は,次の場合を除きいかなる理由があっても返還いたしません。
(ア) 入学検定料を振り込んだが,出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
(イ) 誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合
なお,上記(ア)又は(イ)に該当する場合は,速やかに学生課入試係へご連絡ください。
- 7) 願書受付後は,記載事項の変更は認められません。
- 8) 受験票は出願手続きが終了次第,受験票を交付します。郵送により出願書類を提出された者には,検査前日までに受験票が届くように送付する予定ですが,遠方の場合には,検査当日に交付する場合がございます。その場合は必ず在籍(出身)学校もしくは

は出願者本人へその旨を連絡いたします。

入学者選抜方法

入学者の選抜は、中学校から提出された調査書の「学習の記録」及び「活動の記録」、小論文、面接の結果を総合的に評価して行います。配点は、調査書の「学習の記録」(3年間の5段階評価点×9科目の135点)、小論文(100点)、面接(100点)の335点満点とします。

検査日時及び受験地

(1) 日 時

期 日	時 間	区 分
令和7年3月5日(水)	10:00~10:50	小論文
	11:00~	面接

(2) 場 所

広島商船高等専門学校(広島県豊田郡大崎上島町東野4272番地1)

[受験上の注意事項]

- (1) 受験票を持参の上、当日9時30分までに受付を完了してください。
- (2) 身体に障がい(視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由等)があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和7年2月28日(金)までに下記へお問合せください。

問合せ先：学生課入試係 電話(0846)67-3177

合格者の発表

(1) 日 時

令和7年3月7日(金)10時

(2) 発表方法

合格者の受験番号を掲示します。ホームページにおいても合格者受験番号を掲示するとともに、本人あてに文書で通知します(当日発送)。合格者については、入学手続きに関する書類を郵送します。

なお、電話、メール等による可否に関する問合せには、一切応じられません。

ホームページアドレス <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp>

入学手続きについて

合格通知の書類とともに入学手続きに関する書類を同封します。詳細については、合格通知の際に連絡します。期間内に手続きを行わない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

検定料免除

本校では、災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置を定めています。この制度の適用を希望する場合は、本校のホームページを確認の上、学生課入試係へご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp>

個人情報の取扱いについて

出願にあたり提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び入学者選抜を通じて得られた個人情報は、次に掲げる目的以外に利用しません。

ア．入学者選抜，合格発表，入学手続きの連絡

イ．入学後の教育・指導

ウ．入学後の学生生活支援業務

（入学科・授業料の免除申請の審査，奨学金申請の審査）

エ．本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

オ．校友会（同窓会）・奨学後援会等の案内

入学年度に納める経費

	費 目	金 額	備 考
全 員 が 必 要 な 経 費	入学料	84,600 円	入学時のみ
	授業料	234,600 円	年額
	教科書・実習服等	約 16,000～60,000 円	学科により金額が違います
	制服・体操服	約 76,000 円	オプション品を含まない価格
	学生会入会金	1,000 円	入学時のみ
	学生会費	7,200 円	年額
	日本赤十字振興切掛金	1,550 円	年額
	学 級 費	24,000 円	年額
	新入生オリエンテーション経費	12,000 円	入学時のみ
そ の 他	奨学後援会入会金（保護者会）	5,000 円	入学時のみ
	奨学後援会費（保護者会）	24,000 円	年額
	計	約 485,950～529,950 円	

在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

1. 入学料免除並びに徴収猶予制度について

入学前1年以内において、学費負担者の死亡または風水害等の災害を受け、学費の支弁が困難な学生には入学料の免除を、経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生には徴収猶予を受けられる制度があります。

2. 授業料について

平成22年度から「高等学校等就学支援金」制度が開始されました。本校の授業料は年間234,600円ですが、国の「高等学校等就学支援金」制度により、所得が一定以下の世帯（1）に118,800円の就学支援金が支給され、授業料に充当されます。

また、保護者の所得によってさらに年間115,800円が加算される場合があります。

1 所得が一定以下であるかどうかは、保護者（親権者）の市町村民税課税標準額によって判定されます。詳細についてはお問い合わせください。

問合せ先：学生課学生係 電話（0846）67-3023

3. 学寮について

通学が困難な学生の学業を支えるために、教育寮として学寮が設置されています。男子寮と女子寮があり、1室当たり同学年1～2名で居住しています。

寮生活では、友人への思いやり、協調性、自立性等を養う貴重な体験が得られます。（入寮期限は3年とし、その後再入寮手続きを毎年行います。新入生の入寮希望者を優先させることから学寮収容定員を超過する場合、また、生活習慣が乱れている場合は、再入寮を許可しないことがあります。）

項 目	金 額	備 考
寄 宿 料	800 円	月額（1人部屋）
	700 円	月額（2人部屋）
給 食 費	39,050 円	月額（1ヶ月30日の場合） 物価高騰のため改定する場合があります。
寮経費（光熱水料等）	10,000 円	月額（9月分・3月分徴収せず） 光熱水費高騰のため改定する場合があります。
食 器 代	4,000 円	入寮時のみ
通 信 費	2,000 円	年額